

2023 年度事業報告

2023 年度の社員総会で議決された事業計画の実施結果を下記のとおり報告する。

I. 総括

セーフティグローバル推進機構は、2016 年 7 月に設立以来、国際フォーラムの開催、2020 年発行の IEC 白書 “Safety in the Future” への参画、2022 年の第 2 回ビジョンゼロサミット 2022 の日本開催を誘致するなどの国際的な活動により、世界各国の安全関連団体と関係を構築してきた。昨年度は未来モノづくり国際 EXP02023 のフェアインフェアイベントとして展示会やウェルビーイング国際シンポジウムの開催により、国内外においてセーフティグローバル推進機構の認知度が向上している。また 2024 年 1 月に新たな委員会として「モノづくり委員会」を発足し、セーフティグローバル推進機構の認知度向上とともに会員増加にもつながっている。

近年、欧州を中心に、職場における「安全、健康、ウェルビーイング」を提唱するビジョン・ゼロ活動が展開されているなか、ビジョン・ゼロ活動を推進してきたセーフティグローバル推進機構としては、働く人の身体的な安全が確保され、肉体・精神の健康が実現された上で、心の在り方としての生きがい、やりがいをもって働くというポジティブな側面にも目を向けた安全活動（ポジティブ安全）が重要であると考え、「働く人の安全、健康、ウェルビーイングの向上を」を広く普及させるために、書籍『実践！ウェルビーイング』を 2023 年 5 月に発行した。

II. 重点施策活動概要

1. 認証スキーム

要員認証制度及び適合審査の拡大を積極的に推進する。

1) ロボットセーフティアセッサ資格認証制度

2023 年度のロボットセーフティアセッサの受験者数は、300 名の目標を設定したが、前年度の 235 名から 243 名と微増に過ぎず、目標の達成には至らなかった。

ロボットセーフティアセッサのメインターゲットであるシステムインテグレータの受験者数の増加のために、日本ロボットシステムインテグレータ協会（以下 Sier 協会）向けのロボットセーフティアセッサ、セーフティサブアセッサの講習会を実施したが、受験者の増加には結びついていない。

2) セーフティオフィサ資格認証制度

2023 年度のセーフティオフィサ資格の受験者は 1,400 名の目標に対し結果は 1,179 名で未達成であったが、目標とともに 2022 年度実績（1,258 名）にも未達成に終わる。主な要因として昨年度まで会社施策としてセーフティオフィサの取得を実施していた大手顧客などが取得対象者の受験を終えたことが考えられる。

3) Safety2.0 適合審査登録制度

Safety2.0 適合審査登録制度は、2018 年 2 月に開始し、2019 年度は 6 件、2020 年度は 3 件、2022 年度は 1 件の審査登録数で推移してきた。2023 年度は適合審査登録を 6 件の目標を設定したが、Safety 2.0 適合審査登録のメリット（費用対効果）を十分に訴求できていないこともあり、3 件という結果に終わった。2024 年度からはセーフティグローバル推進機構をスキームオーナー、日本認証を認証機関とする新たな体制を構築して、積極的な活動を実施する。

2. 広報・出版

1) ウェルビーイング・テック、国際シンポジウム

セーフティグローバル推進機構が主となって、日刊工業が開催する未来モノづくり国際 EXPO 2023 の展示会が、インテックス大阪にて 2023 年 5 月 10 日から 5 月 12 日まで行われた。この展示会にフェアインフェアとしてウェルビーイング・テックを開催した。5 月 11 日には、「働く環境でのウェルビーイングー我々の課題と戦略的対応」をテーマに、世界各国の専門家や有識者によるディスカッションおよび講演が行われました。さらに、5 月 12 日には、来日した海外の専門家や有識者向けに、新名神高速道路工事現場（トンネル現場）や川崎重工業株式会社（ロボット工場など）の視察を実施した。

2) 安全経営フォーラム

2023 年 6 月 30 日機械振興会館において、安全経営フォーラムを下記テーマで開催した。

- ① 「セーフティグローバル推進機構の活動進化 構想から実践へ & 交流から連携へ」 IGSAP 藤田俊弘理事
- ② 「経営とウェルビーイング」 日本大学 中村英夫名誉教授
- ③ 「ウェルビーイングの実践とその手ごたえ」 日揮グローバル株式会社杉本 亨様
- ④ 「人と機械が安全・安心に協調して働ける工場に向けて ～トヨタにおける取り組みの現状と課題～」 トヨタ自動車株式会社 太田裕一様

3) 書籍の執筆、発行

コロナ・パンデミックを契機として次の時代の価値観として、“安全な環境に囲まれて、幸せに暮らせる社会”の実現が強く望まれつつあるなか、企業においてウェルビーイングが大きなテーマになってきている。業界・業種を超えた安全

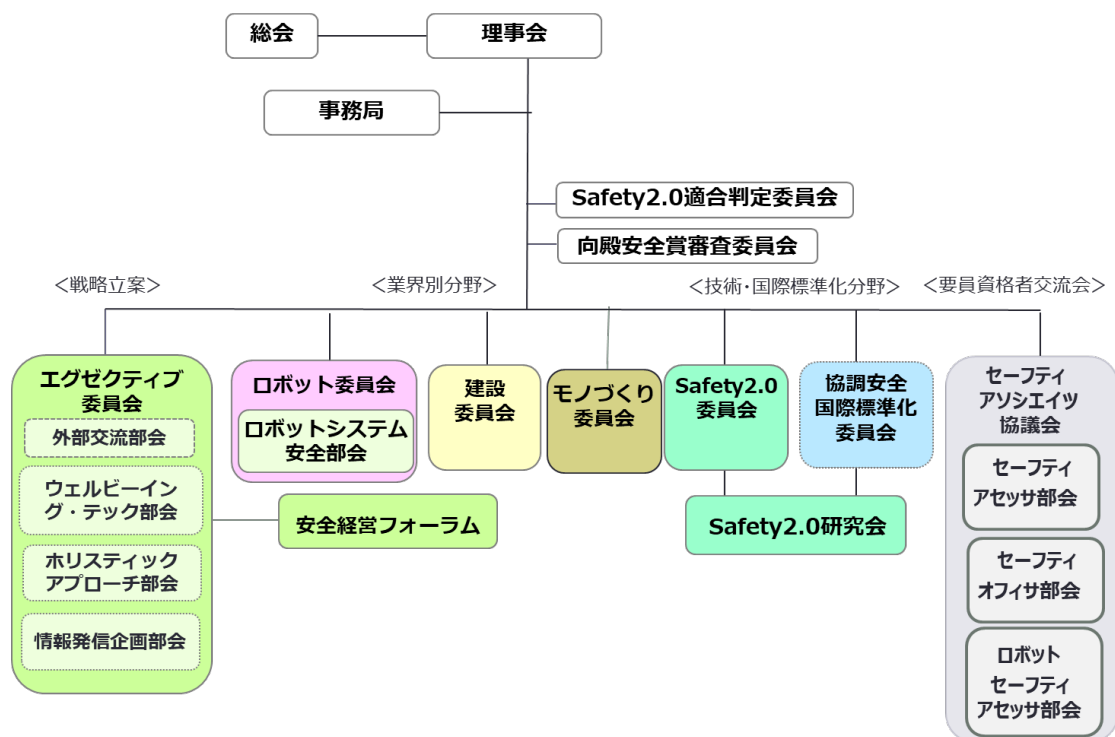
化に対する幅広いニーズに応えるセーフティグローバル推進機構として、「働く人の安全、健康、ウェルビーイングの向上」の広報を目的とし、ウェルビーイングを実践するための具体的な方法を提示した「実践！ウェルビーイング」を 2023 年 5 月に発行した。本書は情報発信&出版企画部会が中心となり、国内外の専門家に執筆頂いたセーフティグローバル推進機構として初めての著作である。

4) GISHW (Global Initiative for Safety Health and Well-being @ EXP02025 and BEYOND) での活動

「地球市民 80 億人の安全・健康・ウェルビーイング向上の実現を目指す」グローバルな組織である GISHW に、セーフティグローバル推進機構はプログラム主催者の一員として、4 月のスペインでのキックオフ会議、5 月の大阪での第一回 GISHW 会議、11 月オーストラリアでの第 2 回会議に参加して、GISHW の体制、役割さらに EXP02025 でのサミットやシンポジウムなどの企画、検討を始めている。

3. 委員会活動

コロナ禍の影響で、委員会はオンライン会議を中心に開催していたが、オンライン会議の利便性により出席率は向上するが、会員間のコミュニケーションや議論等が課題となった。昨年度からは、徐々にハイブリッド会議（集合会議とオンライン会議の併用）を中心にするにより、会員間のコミュニケーションは改善してきている。SA 協議会（セーフティアソシエイツ）内にセーフティオフィサ部会を新設し、セーフティオフィサ資格の社会的認知度の向上と資格者の地位の向上、技術力の向上を目指して活動を開始した。



図：セーフティグローバル推進機構 の組織図 (2023 年度)

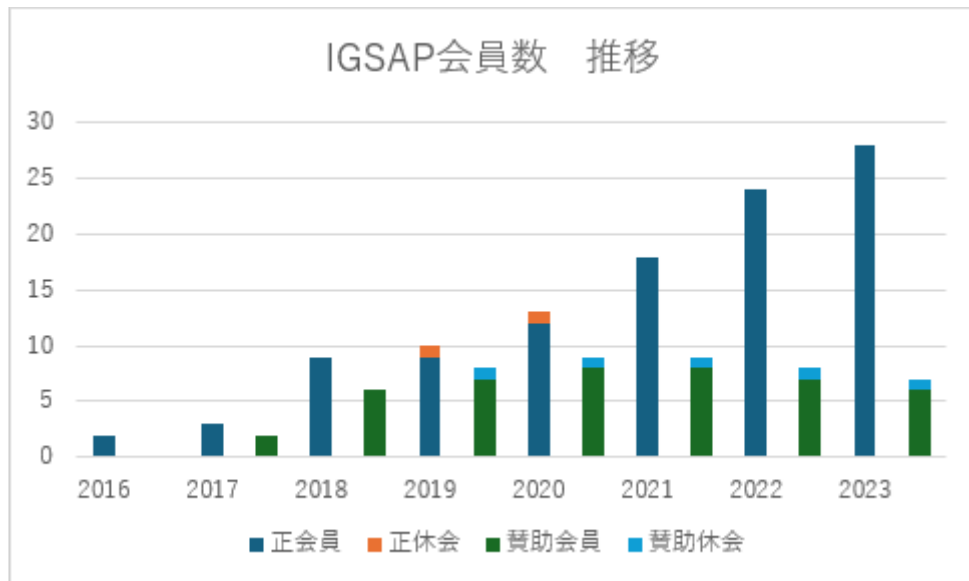
委員会、研究会、部会	責任者
エグゼクティブ委員会、安全経営フォーラム	藤田委員長
ロボット委員会	小平委員長
建設委員会	河田委員長
モノづくり委員会	村田委員長
Safety 2.0 委員会	谷川委員長
Safety 2.0 研究会	谷川主査
ロボットシステム安全部会	野田部会長
ウェルビーイング・テック部会	北條部会長
ホリスティックアプローチ部会	梶屋部会長
情報発信企画部会	荻原部会長
S A 協議会	小平会長
S A 部会	大賀部会長
R S A 部会	圖子部会長
S O 部会	高木部会長

表：各組織長 (2023 年度)

4. 会員数

2024 年 3 月末における会員数は、法人・団体会員 35 社（法人・団体正会員 28 社、法人・団体賛助会員 7 社）、個人正会員 4 名、個人賛助会員（SA 協議会会員：SA 部会 1,622 名、RSA 部会 242 名、SO 部会 66 名）である。

2023 年度は正会員として古河機械金属、東珠、パトライト、アトリエ、パナソニックオートモーティブシステムズ、安川電機の6社、賛助会員としてパナソニック インダストリー、レールソリューションズの2社に入会いただいた。引き続き新規会員の入会を促進していく。



表：会員の入退会推移（2024 年 3 月 31 日現在）

Ⅲ. 定時社員総会・理事会の活動報告

1. 定時社員総会

2023 年 6 月 30 日に定時社員総会を開催し、以下の議案が原案どおりに可決された。
(議案)

第 1 号議案 2022 年度事業報告の件

第 2 号議案 2022 年度決算報告、監査報告の件

第 3 号議案 2023 年度基本方針及び事業計画の件

第 4 号議案 2023 年度収支予算の件

2. 理事会

2023 年 4 月より 2024 年 3 月までの間に理事会を 5 回開催し、下記の事項についてそれぞれの決議を行った。

(1) 第 1 回理事会 (2023 年 5 月 17 日)

(議決事項)

第 1 号議案 2022 年度事業報告 承認の件

第 2 号議案 2022 年度の決算報告及び収支報告 承認の件

第 3 号議案 2023 年度社員総会 承認の件

第 4 号議案 正会員入会、賛助会員入会 承認の件

第 5 号議案 新規程の制定、規程改定 承認の件

第 6 号議案 あすか税理士事務所との顧問契約 承認の件

(報告事項)

1) ウェルビーイング・テック報告

2) 書籍出版報告

(2) 第 2 回理事会 (2023 年 9 月 13 日)

(議決事項)

第 1 号議案 正会員入会、賛助会員入会 承認の件

第 2 号議案 決裁権限規程発行、旅費交通費規程の改定 承認の件

第 3 号議案 武田特別顧問の雇用契約 承認の件

(報告事項)

1) 「モノづくり委員会」発足に向けて

2) 緑十字展

3) Sier 協会への RSA 資格制度の促進活動

4) ホームページリニューアル PJ の進展状況

5) ウェルビーイング・テック報告 (収支、課題など)

6) EXP02025 に向けての GISHW とセーフティグローバル推進機構の位置づけ

7) セーフティグローバル推進機構理事追加と会員数増の取り組み（自由討議）

(3) 第3回理事会（2023年12月13日）

（議決事項）

第1号議案 正会員入会 承認の件

第2号議案 ロボットセーフティアセッサ、セーフティオフィサの資格制度利用
料に関する覚書 承認の件

第3号議案 モノづくり委員会の状況と委員長 承認の件

（報告事項）

1) 2023年度予算の進捗状況

2) 2023年度計画と2024年度計画について

3) 「未来モノづくり国際EXP0」後援名義依頼

4) セーフティグローバル推進機構ホームページ中間報告

5) セーフティグローバル推進機構入会メリット検討WG中間報告

6) ウェルビーイング・テックの定義化と今後の進め方

7) Safety2.0 規程見直しの進捗状況

8) A+A、ワールド कांग्रेस シドニー出張報告と今後について

9) GISHW の財務組織化

10) その他

(4) 第4回理事会（2024年1月22日、電磁的決済）

（議決事項）

第1号議案 正会員入会 承認の件

(5) 第5回理事会（2024年3月21日）

第1部

（議決事項）

第1号議案 正会員入会、個人正会員入会 承認の件

第2号議案 顧問の来年度契約の件

第3号議案 2024年度計画、予算案の件

第4号議案 各委員会、部会の2023年度活動報告、2024年度来期計画の件

第5号議案 SA協議会の体制変更(規定改定)の件

第6号議案 ホームページの業者、掲載内容承認の件

第7号議案 建設セーフティオフィサの開発承認の件

第8号議案 セーフティオフィサ制度利用料の覚書改定の件

（報告事項）

1) Safety2.0 審査登録制度及び費用改正

- 2) セーフティグローバル推進機構入会案内リーフレットの最終版
- 3) 大学のセーフティグローバル推進機構入会
- 4) 緑十字賞
- 5) 社員総会日程
- 6) EXP02025 に向けての GISHW の活動
- 7) その他報告事項

第 2 部

国連専門機関の ILO からのセーフティグローバル推進機構並びにセーフティグローバル推進機構会員への EXP02025 とその先への協業活動の提案とお願いについて

項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
社員総会			30 日									
理事会		17 日				13 日			13 日			21 日
建設委員会		26 日			28 日			9 日				1 日
ロボット委員会			6 日		29 日				12 日		21 日	
ロボットシステム安全部会		16 日			21 日			14 日			13 日	
Safety2.0 委員会		29 日			31 日			27 日			26 日	
Safety2.0 研究会		29 日			31 日			27 日			26 日	
エグゼクティブ委員会			13 日			7 日						21 日
安全経営フォーラム			30 日									
モノづくり委員会										29 日		14 日

表：2023 年度総会、理事会、委員会、部会、研究会の開催実施日一覧

以上